

---

# 田中さん戦争

湊奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

田中さん戦争

### 【Nコード】

N4972R

### 【作者名】

漣奈

### 【あらすじ】

田中さんの田中さんによる田中さんの戦争物語。・・・ラブストーリー(?)です。

## #1 慶東高にクイーンはいない?!

「これは戦争よ。」

彼女は言った。

朝のざわめき。いつもそうだが今日は今年最初のテストの返却日もあって一段とうるさくなっている。そんな中を私は堂々と廊下の真ん中を歩いていく。  
目の前にはテスト結果の掲示してある掲示板。

### 第二学年中間テスト結果

一位 田中爽子 498点

まあ当然と言えば当然の結果である。だって入学してから一位しかとってないし。

「やっぱり一位は爽子ちゃんかあ……。おめでとう爽子ちゃん。」

「ありがとう。」

そう、私が田中爽子（さわみ）、16歳。慶東高等学校の二年生。  
黒髪に校則を守って着たセーラー服、要するにいわゆる優等生ってヤツである。

自分で言うのもどうかと思うけど結構頭はいい方である。

「やっぱり田中さんには勝てなかったかあ……。」

……その声はッ?!

振り向くと王子スマイル全開の祐樹くんの顔がッ!!

「たっ竹原くんっ！！！！」  
「おはよ、田中さん。学年一位おめでとう。いや〜すごいね！俺なんてまた4位だよ。」  
「あっありがとう・・・。」  
「また二人一緒に一位なんだね。おめでとう！」  
・・・そうだった。学年一位は私だけではない。それは・・・  
「おはよ〜竹原くん！！ありがとう〜」

### 第二学年中間テスト結果

一位	田中爽子	498点
	田中鈴音	498点
三位	野中涼子	496点
四位	竹原祐樹	492点
五位	姫宮妃奈	488点
六位	佐藤颯汰	472点
・・・		

・・・こいつもいたんだった。

慶東高校二年にクイーンはいないという。当たり前。クイーンが二人もいては意味がない。

田中鈴音、16歳。私が絶対に負けないけど絶対に勝てない相手。ふわふわの髪の毛は地毛だというのが茶色でいわゆる「守ってあげたくなる」タイプ。そして、私と同じ田中の名字。

「さわちゃんも一位だったんだね！」  
可愛い笑顔のままの宣戦布告。要するに一位の場に二人もいらないうってコト。

といつてもここは祐樹くんの前。そうそう本性を出してはいけない。

「田中さんもだね」

「二人ともおめでとう！！俺も頑張るから！！じゃあね。」

「たっ竹原くんっありがとうっ！！！！！！」

顔を真っ赤にして叫ぶ田中×2。

「……ん？2人？ということはもしかして……。」

「ふんアンタも竹原くん狙いなんだ。」

チツ竹原くんがいなくなつた途端本性だしやがった……！！

「つてことはライバルだね さくわちゃんっ」

「……そうみたいね。よろしくね、た・な・かさん。」

「これは戦争よ。貴女と私のね。」

「……っこんなヤツなんか絶対負けないんだからっ！！！！！！」

## #2 田中さんVS田中さん

パチン、パチン・・・ホツチキスの規則的な音が教室に響いている。その教室で私は息を大きく吸い込むと私は一言叫んだ。

「なんでアンタとこんなところでプリント作らなきゃなんないのよッ！！！！」

・・・こんなことになったのはつい数時間前のこと。

「はいッ！じゃあ2-6の委員は爽子さんに決定！！」

「・・・頑張ります。」

やってしまった。立候補がない為くじとなった委員決めで当たりくじを引いてしまった。

しかも学級委員。めんどくさいことこの上ない。でも一ついいことがあるとすれば・・・

「じゃあ田中さんも学級委員になったんだ。」

「たっ竹原くんもなんだね！」

「うん！よろしくじゃあ2-3でプリントづくりするらしいからいいっか？」

・・・神様っているんだ・・・っ！！爽子は今幸せです・・・！！  
そうして2-3のクラスのクラスの扉を開けると、

「おっそ〜い！！ってアレ？もしかして竹原くんも同じ・・・って爽子ちゃんもいるんだあ・・・。」

田中鈴音登場。え・・・なんでっ？！

### クラス学級委員名簿

2-1 山野 翔

2-2 霧島咲和

2-3 田中鈴音

2-4 竹原祐樹

2 - 5 野中涼子

2 - 6 田中爽子

「竹原くんよろしくねえ」 ミ・・・爽子ちゃんも、ね。」  
いちいちなんだよ!!!!!!

・・・というわけで。

「へえ〜じゃあ鈴音ちゃんは理数系狙ってるんだ。」

「うんっ！そうだよ・・・ところで竹原くん、竹原くんの好きな人  
ってどんなタイプの人？」

「あっそれ私も聞きたい！」

つい口を挟んでしまった。

「ん〜と・・・頭のいい人・・・かなあ？」

「あっ頭のいい人?!?!」

ってことは私とアイツ、どっちにも可能性はあるってコト・・・?

そうしてプリントづくりが終わった後、廊下で鈴音に呼び出された。

「聞いたでしょ、竹原くんの好み。」

「う・・・うん。」

「今度学校で模試があるわ。その模試で勝った方が告白する権利を  
得られる・・・どう？」

「忘れたの？一年生の頃から私たち一回も勝ち負けがついたことが  
ないのよ？」

「わかってるわ。だから・・・私も本気で勉強するから。爽子ちゃ  
んも頑張ってるね。」

「・・・っ」

正直言っただけで勝てる自信もないし、告白する勇気もない。・・・でも、  
こいつだけには負けたくない。

「いいわ。次の模試ね。」

この勝負絶対に負けたくない!!



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4972r/>

---

田中さん戦争

2011年10月8日21時04分発行